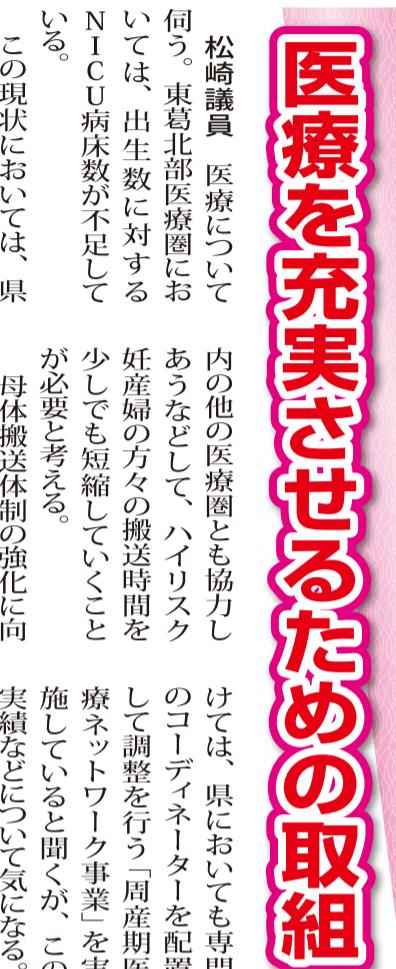


◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

太洋 松崎たかひろ県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



6月県議会一般質問に登壇した松崎議員

6月県議会一般質問

柏市選出の松崎たかひろ県議は、6月定例議会の一般質問に登壇し、柏市内の警察力の強化や周産期母子医療について、また、都市軸道路や飲酒運転の防止についてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をただしました。その概要をお伝えします。

松崎議員 柏市内の警察力の強化について伺う。

私はこれまで、市民の安全安心の確保の観点から、柏市内に、もう一つの警察署の新設について要望をし

署を新設、あるいは柏警察署の警察官増員などの警察力の強化について要望をし

中長期的な検討をするものだと理解している。

しかしながら、柏警察署は、刑法犯認知件数や交通事故発生件数が県内で最も多い警察署であるとうかがっている。こうした情勢を踏まえると、市民の安全安心の確保のため、警察官の

柏警察署についても、管内の刑法犯認知件数、交通事故の見直しや装備資機材の充実による業務の効率化等を図っています。

柏警察署に於いても、管内の警察官の配置の見直しや装備資機材の充実による業務の効率化等を図っています。

そこで伺う。在宅医療の充実に向けて、県では、保健医療担当部長がどのように取り組んでいくのか。

保健医療担当部長の松崎議員による答弁です。

重要であると考えるが、県として、今後、地域の在宅医療をどう支援していくのか気になる。

そこで伺う。在宅医療の充実に向けて、県では、保健医療担当部長がどのように取り組んでいくのか。

柏市内、警察力の強化を図れ

事故発生件数、110番受理数が県内最多であることを踏まえ、必要な検討を行つて

ます。柏市内の警察力の強化については、柏警察署に音声応答装置が導入される予定とのことだが、最近では代表電話に音声応答装置を導入している自治体も増えており、導入によって、職員の負担が軽減され、いたずら電話や不応答装置があると聞いています。是非、柏警察署へのできる限り早い導入をお願いするとともに、先進技術の活用などを本的に必要な警察活動に尽力いただくことで警察力を強化を図つていただきたい。

松崎議員 医療について伺う。東葛北部医療圏においては、出生数に対する NICU病床数が不足している。

母体搬送体制の強化に向

実績などについて気になる。

そこで伺う。東葛北部医療圏における母体搬送コードネート事業の取組状況はどうか。また、コードネートに要する時間短縮の状況はどうか。

保健医療担当部長の松崎議員による答弁です。

そこでは、ハイリスク妊産婦に対する、医療圏内での対応が困難な場合に、「総合周産期母子医療センター」に配置した「母体搬送コードネーターサーバー」が全県的な搬送調整等を行う体制を整えております。

本事業における令和5年度の調整実績は149件で、このうち東葛北部医療圏からの依頼が61件と41%を占めています。昨年10月からは、新型コロナウイルスに感染した妊娠婦のために導入した入院

受入れ可否の一斉照会システムを、全てのハイリスク妊産婦に拡大して運用することでの効果を上げております。

保健医療担当部長の松崎議員による答弁です。

医療の需要は今後も大幅な増加が見込まれることから、県では、在宅医療に取り組む施設や人材の増加を図るため、医師や看護職員等を対象に訪問診療等に関する研修を行うとともに、在宅医療への参入を検討する医療機関に対してアドバイザーの派遣を実施しています。

また、新たな保健医療計画においては、退院支援から看取りまで切れ目ない医療人材の確保等、支援に向けた働きかけをお願いしたい。

松崎議員 飲酒運転の防止について伺う。飲酒運転防止については、我が党の代表質問でも県職員などの飲酒運転防止について伺つたところが、県職員の皆様には、今までその意識を高めてい

ただきたいと思う。見つかなければ大丈夫ではないかという考えは、自分位な考え方であつて、事故になつてからでは遅い。間違つてもそのような考えを起こさないように、一人ひとり

の意識づけが大事であり、また、県民一人ひとりが、日々から常に見られているという意識を持つていただけます。

そこで伺う。飲酒運転取り締まりメールボックスで飲酒運転に関する情報提供を促していると聞いています。そこで伺う。飲酒運転検査状況はどうか。

警察本部長 県警では、これまで県民一人ひとりが、日々から常に見られているという意識を持つていただけます。

生涯大学校は、高齢者の学びを確保し、健康づくりや生きがいづくりの場となり、また、卒業後の社会貢献活動を後押しする役割をも担う施設であると考える。昨年の質問で令和5年3月に、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする新たなマスター・プランを策定し、学習内容の見直しや新たなコースの設置を行

千葉、埼玉、茨城の連携強化へ 都市軸道路早期事業化を



自席から要望する松崎議員

松崎議員 都市軸道路は、環状道路と茨城県つくば市の国道354号を結ぶ全長約30キロメートルの広域幹線道路であり、つくばエク

スプレス沿線より東京都心方面を結ぶ都市計画道路である。埼玉県、千葉県、茨城県と地域間の連携強化及びまちづくり、交流の促進を図

る上で重要な都市軸道路として、全線開通することで、首都直下型地震のような未曾有の災害時の救命活動と復旧活動においても大きな役割を果たすと期待されて

いる。既に着手している区間では、昨年11月に埼玉県と千葉県を結ぶ三郷流山有料道路が開通し、私の地元である柏市においては、国道16号との立体交差部において大規模な工事が進められており、その進捗が気になるところである。

そこで伺う。都市軸道路の進捗状況はどうか。

県土整備部長 都市軸道路は埼玉県三郷市と茨城県つくば市を結ぶ広域的な幹線道路であり、つくばエクスプレス沿線において新たに発生する交通需要に対応

河する橋梁については、これまで茨城県と渡河部の設計に関する協定を締結し、現在、両県で分担して、橋梁予備設計を実施しているところであり、引き続き、茨城県と密に連携を図り、早期事業化に向け、積極的に取り組んでまいります。

国道16号をはじめとする県北西部の渋滞緩和は喫緊の課題であり、都市軸道路の開通は、東京一極集中の是正や近隣県への機能分化にもつながるものである。整備について、しっかりと進めていただきたい。

松崎議員 生涯大学校について、私もこれまで何度も質問してきているところが、人口減少の日本において、地域で高齢者の社会参加を促進するための取組は、いろいろな意味で大事なことと考える。

健康福祉部長 今年度からスタートした第3次千葉県生涯大学校マスター・プランでは、地域活動の担い手

具体的には、地域の福祉や防災などの地域活動の基

礎を学ぶ共通科目を設けた

ほか、ボランティア体験の授業を充実させるなど、在学

中から地域活動に興味や関

心を持てるよう、学習内容の再編を行いました。

また、卒業生と地域活動

団体とのマッチングを行うコ

ーディネーターの増員を行つたところであり、今後も生

涯現役社会の実現に向か

学生が生涯大学校での学び

●県政や柏市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

松崎たかひろ 県事務所

〒277-0005 柏市柏3-7-21椎名ビル605号 TEL.04(7168)0966

うなど、魅力ある学びの場を提供するという話を聞いた。このうち、国道16号との立体交差部については、国道直下のトンネル工事が令和4年度末に完成し、現在、その前後区間で工事を進めています。

また、利根川を渡る橋梁については、これまで茨城県と渡河部の設計に関する協定を締結し、現在、両県で分担して、橋梁予備設計を実施しているところであり、引き続き、茨城県と密に連携を図り、早期事業化に向け、積極的に取り組んでまいります。

そこで伺う。千葉生涯大学校では、新しいマスター・プランの下、学生を地域活動につなげるために、どのように取り組んでいくのか。

松崎議員 生涯大学校について、私もこれまで何度も質問してきているところが、人口減少の日本において、地域で高齢者の社会参加を促進するための取組は、いろいろな意味で大事なことと考える。

健康福祉部長 今年度からスタートした第3次千葉県生涯大学校マスター・プランでは、地域活動の担い手として、これまで以上に重点を置き、全ての学生を卒業後に地域活動につなげられるよう、取り組むこととしています。

具体的には、地域の福祉や防災などの地域活動の基礎を学ぶ共通科目を設けたほか、ボランティア体験の授業を充実させるなど、在学中から地域活動に興味や関心を持てるよう、学習内容の再編を行いました。

また、卒業生と地域活動団体とのマッチングを行うコーディネーターの増員を行つたところであり、今後も生涯現役社会の実現に向か

学生が生涯大学校での学びを活かして活躍できるよう、支援してまいります。

今後も魅力のある学び場となるよう、地域社会で活躍できるよう、県としても取り組んでいただくよう要望する。また、毎年お願いしているが、施設の老朽化対策を進めていただくよう要望する。